

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

舞鶴市

特別支援教育支援員設置事業

事業の経過・背景・課題

学校生活の中で、児童生徒一人ひとりが安心して活躍できる教育活動を進めていくためには、個に応じた支援を行うことが重要となるが、個別の支援を必要とする児童生徒は年々増加傾向にあり、また、教育相談等で「特別支援学級適」や「特別支援学校適」と診断を受けた児童生徒が通常学級を希望されることも多くなっている。教員だけではきめ細やかな指導が不足してしまう現状があるため、児童生徒一人ひとりが安心して教育を受ける環境を整える必要がある。

取組内容

交付実績額： 9,500 千円

- ・通常学級や特別支援学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、適切な対応を行うため、市独自施策として小・中学校に特別支援教育支援員を配置
- ・特別支援教育支援員の指導記録や日々の気づきにより、担任だけでは捉えることのできない児童生徒の思いや変化、行動の特徴等を多くの教師が共通理解することができるとともに、指導の方向性を確かなものとする。

事業の成果・今後の展望等

特別支援教育支援員の配置は、個別の支援を必要とする児童生徒にとって、精神的な安定につながり、安心安全な学校生活を送ることができる。また、安定した学校生活のもと、個別に学習支援を行うことにより、学習に対する意欲の向上や自信につながっている。

【具体事例】

- 支援員の配置により、児童生徒のパニックを回避することができている。
- 支援員の配置により、一斉授業の中での学習支援や取り出し指導を行うことができ、児童生徒の学習に対する困り感や抵抗感の軽減につながっている。このことが学習意欲の向上と基礎学力の定着につながっている。
- 個々のペースに合わせることにより、「できる」「わかる」場面が増え、児童生徒の実態に合う取り組み方を提示し、家庭学習につなげられた。

問い合わせ先

舞鶴市教育委員会学校教育課（0773-66-1072）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

舞鶴市

特別支援教育スーパーバイザー設置事業

事業の経過・背景・課題

特別な支援が必要な児童生徒の数は増加しており、教育現場では児童生徒の特性に合わせた支援や対応が求められている。また、特別な支援が必要な児童生徒の中には、発達障害やその傾向が認められる児童生徒が相当数おり、発達障害の二次障害として不登校やいじめの問題が発生する場合が多いため、特性を理解し、教育的なニーズに応じた適切な支援を行うことが、その未然防止と早期解決に有効である。

発達障害のある児童生徒は、周囲の人の配慮や適切な支援環境が整っていなければ、学校の勉強についていくことができなくなったり、周囲の生徒や教員とのコミュニケーションがうまくとれなかったりして、学校生活が楽しくなくなり、いじめの加害者や被害者になったり、不登校になったりする二次障害が発生する現状がある。そういったことを未然に防ぐため、支援が必要な児童生徒の特性に合わせた個別の支援計画の作成等が求められており、今後更に対応する教職員に特支の専門的な知識が必要となる。

取組内容

交付実績額： 600 千円

○特別支援教育専門家の上位資格である「特別支援教育士スーパーバイザー（SV）」が教育支援センターや学校を訪問し、児童生徒のアセスメント（発達障害の有無の判断、具体的な支援の検討等）や個別の支援計画の作成・実施に関して指導助言を受けた。

○教職員やコーディネーター等を対象とした研修会等を年6回（4・5・6・10月）実施。



事業の成果・今後の展望等

- ・特別支援教育スーパーバイザーによる指導助言や教職員への研修などにより、児童へのきめ細かな個別指導や支援につながった。
- ・児童生徒や保護者への臨床心理士のカウンセリングと併せることにより、特別支援教育の充実が図れた。
- ・学校訪問等の実績がある学校については複数回にわたり支援申請があるが、スケジュールの関係上、全ての申請に対し訪問などの対応ができない場合があるため、今後はより多くの学校で活用がしやすいよう、スーパーバイザーの活用時間数を増やすなど検討していく。

問い合わせ先

舞鶴市教育委員会学校教育課（0773-66-1072）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

舞鶴市

栄養管理システム導入・運用事業

事業の経過・背景・課題

給食管理については、小学校 18校（自校調理方式）においては、各校に配属する栄養教職員が、中学校7校（スクールランチ方式）においては、市教委の栄養教諭がそれぞれ行い、業者へ指示を行っているところ。献立研究による献立の充実やアレルギー食の確実な除去対応など、より安心安全で充実した学校給食を実施する必要がある。また、給食を管理・運営するために必要な帳票については、市独自のワードやエクセルを基本に各学校の栄養教職員が作成・管理しているが、書類作成のための入力・転記作業やチェックがアナログであり、膨大な手間がかかっている。

取組内容

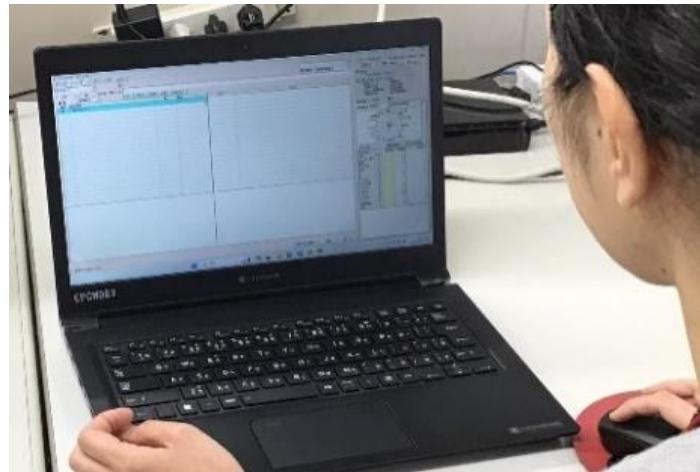
交付実績額： - 千円 セット新規（※）

（※）本交付金を活用することで生じる余剰財源の1/2程度の額により
教育環境の充実に資する事業を新たに実施・拡充

- ・学校給食にかかる献立や栄養価計算、アレルギー対応等を効率的に管理・運営するための栄養管理システムを導入

◇栄養管理システムの操作画面

データをクラウド管理にすることで、各学校で迅速に情報共有する



事業の成果・今後の展望等

栄養管理システムを導入することで、献立研究による献立の充実や、アレルギー食の確実な除去対応など、より安心安全で充実した学校給食の運営等を行うことができた。

今後は、さらに栄養管理システムを活用することにより、学校給食をとおして子どもたちに正しい食習慣や食に関する知識を身に付けさせるとともに、業務を効率化し、職員の働き方改革を実現する。

問い合わせ先

舞鶴市教育委員会学校教育課（0773-66-1072）

舞鶴市

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

校務支援システム出退勤管理機能追加・運用事業

事業の経過・背景・課題

各校における職員の勤怠管理については、紙文書で管理している部分が多く、文書作成・管理・集計に手間を要している。一部書類の作成等については、パソコンにフリーソフトをインストールし、スタンドアロン（※）運用しているものもあるが、経年による機器やシステムの不良等将来的な運用が危惧される状況。

教職員の負担軽減に取り組むことで、子どもと向き合う時間を確保する必要がある。

（※）1台のコンピュータやソフトウェアが他のシステムやデバイスと独立して機能する状態

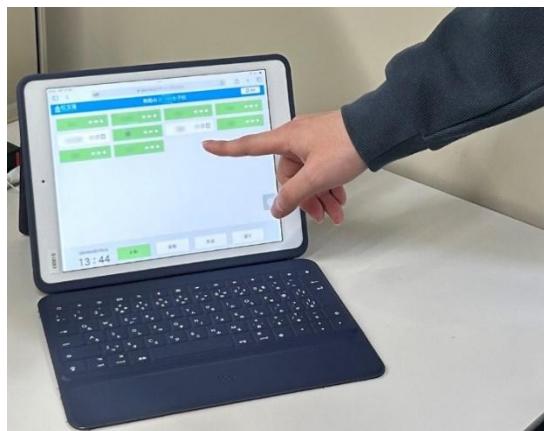
取組内容

交付実績額： - 千円 セット新規（※）

（※）本交付金を活用することで生じる余剰財源の1/2程度の額により
教育環境の充実に資する事業を新たに実施・拡充

- ・全校共通で利用している校務支援システムのオプション機能である勤怠管理機能を導入
- ・勤怠管理機能により、従来の労務管理業務の執行をクラウドサービスに移行

◇タッチ操作で簡単に出退勤が行える→
※令和7年度より、府任用職員の出勤簿作成、
休暇・出張管理等をデジタル移行する。



事業の成果・今後の展望等

勤怠管理機能により、勤怠・労務をクラウドで一元して管理し、集計等の業務の効率化・ペーパーレス化を促すとともに、教職員の勤務時間が可視化されることで、適正な労務管理、教職員の負担軽減につながった。また、GIGAスクール構想にて整備した既存のシステムを基盤に導入・管理することで、スムーズな移行、システムの高い可用性や保全性が確保できた。

時間外勤務の管理等をより優れた環境で行うことができるようになったものの、一部業務（出勤簿、出張管理等）においては、まだ紙ベースでの管理体制となっているため、次年度以降、システムの機能をさらに精査し、データ管理できる業務を増やしていきたい。

教職員の労働環境の改善といったさらなる働き方改革を推進することで、教職員の負担軽減・心理的余裕を確保し、前向きな気持ちを持って子どもたちと向き合える環境づくりに取り組む。

問い合わせ先

舞鶴市教育委員会学校教育課（0773-66-1072）

舞鶴市

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

iPadの運用に係る技術支援業務

事業の経過・背景・課題

GIGAスクール構想に伴い、1人1台端末として、児童生徒・教職員にiPadを配備した。iPadの保守・運用においては、端末が所属するネットワーク保守事業者による対応を行っているが、ハード面・ソフト面におけるサポート対応をさらに拡充する必要がある。

取組内容

交付実績額： - 千円 セット新規（※）

（※）本交付金を活用することで生じる余剰財源の1/2程度の額により
教育環境の充実に資する事業を新たに実施・拡充

- ・Apple製品に関して高度な知見を持つ事業者から技術支援
- ・導入時の設計及び運用状況のアセスメント、改善提案の実施
- ・ネットワーク保守事業者との月次の運用報告会の実施
- ・配備端末の各種ログの収集及び分析

◇舞鶴市のGIGAスクールを推進するにあたり、
指定研究実践校におけるApple IDの授業利用を開始した。
導入にあたるシステム設計等のサポートを受けた。



令和6年度 舞GIGAスクール推進計画 ～4WD構想～

授業づくりリーダー研修
ワーキングする字で、実現する教員を育成
・令和6年5~12月 合4回修業料観
・費用ワクフ 3万0000円
～高い、誇り高い、次の一步～ 8/6 予定

R6年度舞鶴市教育委員会研究実践校
チーム 学校によるICT活用推進
・ワクワクする学びへの挑戦
・アドバイザーによる自己成長の時間
・R7年度(2年次)研究発表会で成果を発信

主張的立派の手の育成を目指して
ワクワクする学びへ

「GIGAワーケブックまいづる」活用研修会
ワクワクする学びへ向かう情報活用能力の育成
・令和6年6月10日(木) 各校1~2名参加
・酒井輝平先生による示範授業を下
・富士人行子部准教授

舞ワクワクシート
ICTを活用した授業実践例
ワクワクする学びへ挑戦する実践例の導入
・各校における実践例の収集
・Journalによる共有

ICT支援員によるサポート・舞GIGAスクールプロジェクト会議による課題整理と答申

事業の成果・今後の展望等

- ・配備端末の各種ログの収集及び分析を行うことにより、児童生徒・教員のICT機器利活用状況を把握し、学校や学年ごとに応じたICT教育を遂行するための基礎情報を取得できた。
- ・iPad運用管理において、市の実情に基づいたアセスメント情報・技術的サポートをフレキシブルにディスカッションすることができ、教員のICT利活用能力の向上やICT環境の充実に繋がった。
- ・令和7年度に更新を予定しているiPadについても、当市の教育環境を勘案した設定・設計が見込めるため、以降のICT環境整備においてアドバンテージとなる見込み。
- ・令和7年度においては、指定研究実践校におけるApple IDの授業利用を全校展開する予定
- ・ICTに関する諸課題や不具合対応について、適宜確認し、舞鶴市のGIGAスクール推進に繋げていく。

問い合わせ先

舞鶴市教育委員会学校教育課 (0773-66-1072)